



# すぎなみ 教育報



No.203

平成23年12月6日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692



地域と共に  
つくる学校

## 地域運営学校 コミュニティ スクール



平成17年に4校でスタートした杉並区の地域運営学校は、平成23年12月現在、16校にまで広がりました。

地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指して、保護者・地域の方々や学識経験者が学校運営協議会委員となり、一定の権限と責任を持って活動しています。具体的には、日常的に保護者・地域の方々、子

どもたちの声を受けとめるとともに、おおむね月1回会合を開き、教職員と学校運営等について協議しています。「いいまちはいい学校を育てる～学校づくりはまちづくり」この理念のもと、地域運営学校は、学校・家庭・地域が一体となって、より良い教育の実現に取り組んでいく要となっています。

### 多様な学び場づくり

杉並第一小学校

学校運営協議会の提案により、学校支援本部が様々な形で学校を応援する取り組みを行っています。始業前に地域の方々によるお話、中学生になってもこまらない英語教室、サマースクール、親子学習、オープンキャンパス、スポーツスクール、放課後活動のすぎっ子クラブ等、多くの活動を実施しています。



### 顔の見える地域づくり

三谷小学校

平成19年度にボランティアを中心とした「学校支援・地域共生本部」が設立され、学校運営協議会との連携を円滑に進めています。毎年「CSフェスタ」を開催し、日頃からお世話になっているの方々への感謝の気持ちを込めた表彰や食に関わる催しなど、多彩な活動を工夫して行っています。



### みんなの声を大切にする学校づくり

向陽中学校

保護者・地域の方々の声を学校運営に反映させるために、学校運営協議会委員と保護者や教職員との懇談会を開催しています。

また、毎年、保護者・生徒へのアンケート調査を実施して、教育課程の検討や教職員の人事に関する意見に反映するよう努めています。



### まちが一体となって未来づくり

井草中学校

学校運営協議会委員と学校支援本部等が、学級サポーター（愛称：コミ担）として、運動会の応援や交流給食への参加、ゲストティーチャーをするなど生徒と触れ合う機会を設けています。また、教職員・PTA・学校支援本部と年4回交流研修会を開催し、井草中の夢を語り合っています。

現在、小学校9校（杉並第一・桃井第四・杏掛・高井戸・富士見丘・堀之内・永福・三谷・天沼）、中学校7校（杉森・天沼・井草・荻窪・富士見丘・向陽・和田）が地域運営学校として指定されています。今後も地域と共にある学校づくりを推進するため、教育委員会ではその拡充に努めていきます。



アーティストの指導を受けて作ったランドセルカバー

など地域のイベントとしても定着しています。

今回、桃井第四小学校では、学校運営協議会委員の呼びかけで「学校」もアートの情報発信基地にしようとトロールの森と連携した取り組みを行いました。そのひとつとして、児童が自分たちで作ったランドセルカバーをつけて登下校し、町を明るく彩りました。

### 芸術で学校と地域が交流

桃井第四小学校

### ランドセルアートが芸術の秋を彩る



また、学校行事「ももしフェスティバル」では、児童の学芸発表会に加え、PTA コーラスと地域フラダンスチームにも発表をしてもらいました。「地域で身近に芸術にふれる機会を作り、子どもたちの感性を豊かなものにしたい」との願いから、まさにコミュニティスクールならではの地域一体型行事となりました。

学校がアート活動の場になったことで、地域の方々が学校に足を運びやすくなった、企画を進める中で教職員と地域の方々が意見交換をする機会が増え、相互理解が深まったなどの成果がありました。

問合せ先：教育改革推進課学校支援係

# 今後10年の杉並の教育を語り合しましょう!

## ～すぎなみ教育シンポジウムを開催します～



教育委員会では、今後10年間(平成24年度から平成33年度まで)における「杉並の目指す教育」を実現するための指針となる「教育ビジョン2012」の策定を、学識経験者・区民・学校関係者等からなる「杉並区教育ビジョン策定委員会」を設置して進めています。

これまで、平成17年に策定した教育ビジョンに基づき、小中一貫教育や30人程度学級の推進、学校支援本部の設置、地域運営学校の指定、区費教員の養成・採用など、教育基盤の整備を図ってきました。

今後は、この教育基盤を土台とし、様々な施策を点から線へ、線か

ら面へとつなげ、多様な区民が共に支え共に創る「学びのまち・杉並」の実現を目指し、取り組んでいきます。

この度、策定委員会によりまとめられた案をもとに、策定に関わられた委員・登壇者・ご参加いただく皆さんが一緒になって「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」について考えていく場として、シンポジウムを開催します。

教職員・子ども・保護者・生涯学習活動や地域活動をしている方々など、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

**日時** 平成24年1月14日(土) 午後2時～4時30分(開場:午後1時30分)

**会場** 座・高円寺2(高円寺北2-1-2)

**内容** 1. 基調講演 ●政策研究大学院大学客員教授 永井 順國(杉並区教育ビジョン策定委員会委員長)

2. シンポジウム(公開討論会)

<進行> ●玉川大学教職大学院教授 坂野 慎二(杉並区教育ビジョン策定委員会委員長職務代理者)

<登壇者> ●西宮中学校校長 秋山 純子

●杉並第一小学校学校支援本部本部長 伴野 博美

●杉並第四小学校前PTA会長・杉並区社会教育委員 吉田 善博

**申込** 当日、直接会場へお越しください(先着順(定員256人))

**参加費** 無料

**問合せ:** 教育改革推進課学校支援係

### 「教育ビジョン2012」案へのご意見をお聞かせください

「教育ビジョン2012」の案については、「杉並区区民等の意見提出手続に関する条例」に基づき、12月下旬から皆さんのご意見を伺う予定です。詳しくは、広報すぎなみでお知らせします。

また、教育シンポジウムの会場においてもご意見を募集いたしますので、ご活用ください。

**問合せ:** 庶務課計画担当

# 新しい教育課程がはじまります

## ～平成24年4月から中学校で新学習指導要領がスタートします～

今年度から、小学校で新しい教育課程が実施されています。来年度からは中学校で、数学・理科を始めとし、各教科等において進めてきた新しい教育課程(教育計画)による週時程や授業等が全面実施となります。

各中学校や教育委員会では、10年に一度の学習指導要領の改訂を学校教育の一層の充実の機会と捉え、研究・準備等を進めています。今後とも、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体づくりを目指し、これまで以上に学校を支援していきます。

### 主な変更点

#### 授業時間数の増加

年間総授業時間数が980時間から1015時間に増加します。

3年間で英語は105時間、理科は95時間、数学は70時間など、6教科で授業時間が増加します。

#### 教育内容の充実

##### ●言語活動の充実

国語をはじめ各教科等において、知識・技能を活用してレポートの作成や論述を行うなど、言語の力を高める学習を行います。

##### ●理数教育の充実

二次方程式の解の公式(数学)、水溶液とイオン(理科)などを新たに学習し、新しい科学的知見を取り入れるなどの観点から、教える内容を充実します。

##### ●外国語教育の充実

小学校の「外国語活動」をふまえ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4技能をバランスよく育成します。また、より活発な活動を支えるため、学習する語数を900語から1200語に増加します。

##### ●道徳教育の充実

自他の生命の尊重、法やきまりの意義の理解、社会の形成への主体的な参画など、内容を充実します。



弁護士による法の授業

##### ●伝統や文化に関する教育の充実

国語、社会、音楽、保健体育、技術家庭の教科や総合的な学習の時間等において、日本の伝統・文化を取り上げる学習を充実します。

##### ●体験活動の充実

職場体験活動など子どもたちの生活や学習が豊かになるための体験活動を充実します。

##### ●体育・健康教育の充実

中学校1・2年で男女とも武道とダンスを含む全領域が必修化されるとともに、体づくり運動やスポーツの科学的知識などに関する学習(体育理論)、保健に関する学習を充実し、一人ひとりに応じた体力の向上を目指します。



柔道の授業

##### ●社会の進展に対応した教育の充実

各教科等において、環境教育、消費者教育、家族と家庭に関する教育、食育等の充実を図ります。

**問合せ:** 済美教育センター ☎ 3311-0021

### 郷土博物館 準常設展「杉並文学館 ～井伏鱒二と阿佐ヶ谷文士～」

杉並文学館は、郷土博物館の中にある特別展示室を利用した小さな文学館です。昭和2年から50年間にわたる荻窪の変遷を綴った『荻窪風土記』の作者、井伏鱒二氏と、阿佐ヶ谷の中華料理店に集った「阿佐ヶ谷会」の文士を中心に、杉並に住まいを構えた作家、芥川・直木賞作家などを紹介します。詳しくは、広報すぎなみや郷土博物館HPをご覧ください。

**期間:** 12月10日(土)～平成24年2月19日(日) 午前9時～午後5時

**休館日:** 毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は翌日が休館日)・12月28日(水)～1月4日(水)

**観覧料:** 100円(中学生以下は無料)

**問合せ:** 郷土博物館(大宮1-20-8) ☎ 3317-0841



# 学校教育の情報化



ICTを活用した公開授業の様子 (桃井第三小学校)

基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養うためには、児童・生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できるようにすることが重要です。

各学校では、教員が大型ディスプレイやコンピュータなどを活用して、画像や写真を拡大提示したり、児童・生徒がインターネットで情報を検索・収集し、調査した結果を発表資料にまとめ、プロジェクトを通して発表するなど、教科指導においてICT活用の充実を図っています。

また、情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用できるようにするための、情報教育も推進しています。

問合せ：済美教育センター

## すぎなみ大人塾卒業生発!『市民活動をはじめるための手引き』ができました!

社会教育センター主催の成人学習講座「すぎなみ大人塾」の卒業生は、すでに500名を超えています。区内で様々な活動を展開していますが、そのネットワークや活動を集結させて、5月に「大人塾発表会2011」を実施しました。



企画・運営・ふりかえり、その全てを担った卒業生たちの実感を出し合っ、市民活動に欠かせない「経験値」を11ヶ条+αにまとめました。成功も反省も、当事者の率直な言葉で書かれているため、みなさんの心にスッと届く内容に仕上がっています。そんな「市民の・市民による・市民のための」一冊です!

社会教育センター・NPO支援センター・ボランティアセンターにて、無料で配布中です。ぜひ、お手にとってご覧ください。

### 経験・実感の中から生まれた11ヶ条+α

- その1 事業をする時は、目的を明確にすべし
- その2 お金は人に頼るべからず
- その3-1 いろんな組織、団体と協力すべし?
- その3-2 いろんな組織、団体と協力すべし!
- その4 自分の得意分野を見極めて事にあたるべし
- その5 ネットワークはとことん使うべし
- その6 アンテナを張り巡らせるべし
- その7 人をお願いする時は、素直な心でのぞむべし
- その8 まずは自分が楽しむべし
- その9 受付はイベントの顔であるべし
- その10 好機を逃さず、人の流れをつかむべし
- その11 ふりかえりを行い、次に活かすべし
- 番外編 計画倒れ、それもよし!次へ
- コラム 大人塾まつりテレビ収録直前大震災。帰れずお泊り3人組。

## 対人関係で悩んでいませんか?



### ■ コミュニケーション講座の報告

不登校やひきこもりなどに悩む方々の支援に20年以上携わっている「青少年健康センター・茗荷谷クラブ」から臨床心理士の方を講師に迎え、「コミュニケーション講座」を開催しました。「アタマでカタク考えず、身体を動かしながらコミュニケーションスキルをアップさせる」ことをコンセプトに、全5回の連続講座を実施。18歳~40歳代の幅広い年代の方々が参加され、ゲームや遊びを取り入れた体験型の講座を行うことで、回が進むにつれて自然と緊張もほぐれているようでした。

「コミュニケーションをうまくするにはどうすれば良いのか!？」と、ハウツー本を読んだりとかく難しく考えてしまいがちですが、身体を動かしながら他者と共同作業をする中で、知らない自分に気づいたり、人と関わるヒントを自然と掴む一助となるかもしれません。

社会教育センターでは、不登校やひきこもりなどの問題を抱える青少年やその家族の解決の一助となるよう、各種事業を展開しています。お気軽にお問合せください。

### ■ 青年期の社会適応力の向上事業紹介 (主催：社会教育センター)

事業	内容	開催日時など
すぎなみしゃべり場	人間関係に不安を持つ方を対象とした社会参加のきっかけ作りの場。カウンセラーが運営をサポートしています。	毎週火曜日 午後6時~9時 ※対象16~35歳くらい
親向け・当事者向け講座	不登校・ひきこもり等に悩むご家族や当事者の方のための講演会やワークショップを開催しています。今年は当事者向け講座としてコミュニケーション講座を開催。	概ね年2回ほど開催
不登校・ひきこもり等支援団体意見交換会	区内の支援団体同士の交流と相互学習による連携を目指して年1回開催。	7月頃開催
不登校・中退者のための進路相談会	フリースクールや高校の担当者が来所し、不登校や中退されたお子さんの進路について相談できます。全国の学校のパンフレットも入手可能。	平成24年3月18日 ※年2回開催

問合せ：社会教育センター (梅里1-22-32) ☎ 3317-6621 ✉ shakyo-c@city.suginami.lg.jp

### 杉並ユネスコ協会創立60周年記念 ユネスコのつどい~水は地球の主役~

「草の根からの平和」を願い、東京都で最も早く結成された杉並ユネスコ協会が今年で60周年を迎えます。これを記念して、区民の方々と一緒に群読劇を行います。生命の起源である「水」を通じて、身近な平和を考えてみませんか。

【日にち】12月17日(土) 【場所】セシオン杉並(梅里1-22-32)

- 第1部 祝う会と合唱 時間：午後1時~ 出演：西高混声合唱団 費用：無料 申込：当日、直接会場へお越しください
  - 第2部 朗読劇「水の手紙」 時間：午後2時~3時 演出：松垣陽子 出演：川辺久造、辻萬長、渡辺穰、辻輝猛、山谷典子、松垣陽子
- 群読：公募の区民・有志40名 費用：大人500円、中高生300円、小学生以下無料  
申込：チケット枚数明記のうえ、ハガキ又はFAXで下記へ(締切12月13日(火)まで)

【問合せ】杉並ユネスコ協会事務局・国嶋(☎・FAX: 3394-9482) 〒167-0031 本天沼3-11-9 国嶋方「杉並ユネスコ・チケット係」

# 走る喜びをつなげよう

今年区立中学校23校に加え、南相馬市からの招待チームが参加します。区内公道の約10.5kmを5区間に分けたコースを子どもたちが走りぬきます。心をひとつにたすきをつなぎ、沿道の皆さんに走る楽しさと感動を伝えます。

## 杉並区中学校対抗 駅伝大会 2011

日時：平成23年12月11日(日) 荒天中止

開会式：午前9時30分

男子の部スタート：午前10時

女子の部スタート：午前10時10分

閉会式：午前11時30分

スタート・ゴール：都立和田堀公園競技場(大宮2-26)

※コース等は11月21日発行の広報すぎなみをご覧ください。

### 応援する方をお願い!

※自転車での併走は非常に危険です。

絶対にやめてください。

※選手の通過に合わせて交通規制が行われます。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解と

ご協力をお願いいたします。

問合せ：社会教育スポーツ課社会体育係

## 食べ物みんな生き物だ!

# 食育ミュージカル「どんでん森はどっきどき」 がやってくる!

「どんでん森に遠足に来た小学生。嫌いなものばかりのお弁当にガッカリして、食べ物を捨てたら…あれ? 森の中がおかしいぞ! 働き蜂はいなくなり、迷子の子豚が現れ…」

山形県立置賜農業高校演劇部が、農業や食べ物に対する自分たちの思いを地域や社会に発信しようとはじめた「食育ミュージカル」。いのちを投げ出す食べ物たちの切ない気持ちを突きつけられ、子どもたちが変わっていくストーリーに、子どもだけでなく大人も引き込まれます。

ミュージカル上演後は、生徒と先生を囲んで、青少年が地域づくりに関わることの意義や、青少年の背中を押す大人の役割などについて話す、ざっくばらんなトークも予定しています。(定員あり・事前申し込み制)



「どんでん森はどっきどき」上演一部。愉快でかわいいキャラクターが多数登場。

【日程】12月23日(金・祝) 【会場】杉並第四小学校体育館(高円寺北2-14-13)

### 【プログラム】

①午前10時~11時

食育ミュージカル「どんでん森はどっきどき」 主催：杉四小・高円寺中学び支援本部

②午前11時15分~午後0時30分

車座トーク~高校生の思いが地域を動かす 主催：社会教育センター、車座委員会

【対象・定員】 区内在住・在勤・在学の方、区内で地域活動している方 50名



### 【申込・問合せ】

食育ミュージカルのみご覧になる方は当日直接会場へお越しください。

車座トークへの参加も希望される方は、件名を「車座トーク」とし、「氏名、住所、電話番号、メールアドレス、年代」をご記入のうえ、メールまたはFAXで、下記へお申し込み下さい。※定員になり次第締切

社会教育センター(〒166-0011 梅里1-22-32)

☎3317-6621 Fax 3317-6620 ✉shakyo-c@city.suginami.lg.jp

# 様々な活動が 表彰されました!

教育委員会で行っている様々な活動が、このたび表彰を受けました。その活動内容等をご紹介します。

①受賞者(学校) ②活動内容

## 『平成23年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる 文部科学大臣表彰』

- ①井草中学校学校支援本部“○(えん)”及び井草中学校学校運営協議会
- ②地域の人々が中心となり学習や体験活動の支援を行う「土曜日学校(ISS:井草サバイバルスピリッツ)」や放課後の居場所として「“ホット”スペース」を開設しています。また、学校運営協議会と学校支援本部を中心に、PTA、地域団体等の協力を得ながら「学級サポーター制度」を設け、地域全体で子どもを育てる活動を行っています。生徒も、まちの一員として、高齢者施設訪問など地域奉仕活動を行う関係が築かれています。

## 『平成23年度優良PTA文部科学大臣表彰』

- ①天沼小学校PTA
- ②地域の団体や施設と広域的な連携を行う中で、上履きの再利用など、リサイクルを中心とした社会貢献活動を積極的に進めています。新校舎の落成式典などをはじめとした学校行事等では、企画から参加し、運営にも携わっています。また、学校や地域(学校支援本部)との協力体制の中で、学校を支援する各種活動を展開し、授業中の学習支援や伝統文化の学習での講師補助、芝生の管理などを行っています。

## 『平成23年度文部科学大臣表彰(学校給食表彰)』

- ①杉並第九小学校
- ②食育の指導を学校教育活動全体の中に位置づけ「食べ物に興味・関心がもてる子ども」の具体化に向けて、創意ある給食指導の実践に取り組んでいます。全教職員が一丸となり、特色ある多様な給食の実施と、社会科、生活科や総合的な学習の時間等との連携も図り、児童・保護者・地域への働きかけも積極的に行っています。



## 『平成23年度養護教諭制度70周年記念 学校保健功労者文部科学大臣表彰』

- ①杉並第四小学校 養護教諭 玉置 美恵子
- ②養護教諭の専門性を活かした教育相談体制の確立や、児童が自らの健康に関心を持つような定期健康診断の工夫、学校医と連携して健康相談を実施するなど、学校保健の向上に努めています。また、保護者や地域との連携、後進の育成に力を注ぎ、さらに関係書籍の執筆、健康教育世界会議での発表等、養護教諭の資質の向上及び地域力の育成に取り組んでいます。



## 『平成23年度東京都教育委員会表彰 健康づくり優良学校(学校保健・学校安全分野)』

- ①桃井第一小学校
- ②運動、食、生活習慣等、人として生きていくために必要な総合的な力を「体力(からだりょく)」と名づけ、その向上に取り組んでいます。体育授業の充実、運動の日常化の実践、食育の推進、給食後の歯みがきの実施等、基本的な生活習慣の向上への活動を進め、教職員一人ひとりの創意工夫を生かした取り組みを行っています。



## 『平成23年度東京都教育委員会表彰 健康づくり功労者(学校給食分野)』

- ①泉南中学校 調理職員 田代 隆
- ②徹底した衛生管理に基づく安全でおいしい給食調理はもとより、給食直営校の調理リーダーとして給食調理員の指導育成に力を注いでいます。また、「学校給食調理作業安全・衛生管理及び危機管理マニュアル」を作成しました。



## 『平成23年度東京都教育委員会表彰 健康づくり功労者(学校保健・学校安全分野)』

- ①学校薬剤師 高橋 美子
- ②学校薬剤師のための研修会の企画・開催や研修講師として学校薬剤師の資質向上に努めています。学校においては、環境衛生検査の他、児童・生徒への薬物乱用防止等教育活動を毎年実施し、子ども達にも積極的にに関わり、親子教室では分かりやすい説明で好評を得るなど、学校保健・学校安全の向上に取り組んでいます。



## 教育委員会の動き(平成23年9月~11月)

【教育委員会開催状況】 ・定例会 4回 ・臨時会 2回 ・議案 22件 ・報告事項 15件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

◎ 教育ビジョン2012(案)の策定について

◎ 関根文化公園プールの廃止について

○ 学校給食の放射性物質検査の実施について

◎ 杉並区立学校教職員研修所の今後の方針について

○ 「杉並区の児童に対する健康教育推進等検討委員会」報告と今後の取組等について

○ 区立小・中・養護学校の芝生養生シートの放射線量について

●再生紙を使用しています